

# 連携機関・組織紹介

■本協議会において体験活動を担う主要な関係団体

## NPO法人自然体験共学センター



**所在地** : 福井市中手町7-3(上味見事務所)

**連絡先** : 0776-93-2013

**ホームページ** : <http://www.kyougaku.com/>

**理事長** : 辻 一寛

**設立時期** : 2004年3月

**活動内容** : 福井市美山地区上味見地域の旧上味見小学校を活動拠点とし、四季折々の自然体験活動に取り組み、また2005年2月には「ふくい森の子自然学校」を設置したなかで、幼児から小中学生の体験活動を企画運営するとともに、人材育成事業、地域づくり協力活動、福井県事業のふくいエコ・グリーンツーリズムの活動、国際交流活動、ノーマライゼーション活動等を行っています。

また、美山地区の様々な自然や歴史と生活文化等の地域資源を学習材としてプログラム化し活動を展開しています。雑木林を活用したツリーハウスの森整備活動、休耕田を活用した森の子キャンプ場作り、自然の中で芸術を楽しむアートフェスティバルin美山の開催等、様々な自然体験の機会を提供しています。

## 伊自良の里振興協会



**所在地** : 福井市中手町29-3(伊自良温泉内)

**連絡先** : 0776-93-2040

**ホームページ** : <http://www.mitena.or.jp/~ijira/>

**理事長** : 宮下 一夫

**設立時期** : 2008年3月

**活動内容** : 上味見地域は豪族「伊自良氏」が室町時代以降に拠点を構えたところで、自然と歴史と文化あふれる里山地域(福井市上味見地域)です。伊自良の里振興協会は、伊自良の里の発展・振興、地域活性化をめざして設立され、福井市伊自良館(温泉)を管理・運営しています。

また、先人から受け継いでいる当地域の歴史・文化を生かし、豊かな自然を活かした地域づくりが、産業の振興、人間形成の醸成、地域力のアップ、並びに住民福祉の向上につながっていくものと考え、伊自良温泉の利用促進、伊自良祭の実施、ふくい森の子自然学校との連携、桜の木などの植栽、特産物赤かぶらの普及、空き家の活用などの地域活性化事業を取り入れ、地域住民が一丸となって取り組み住みよい里づくりを推進しています。

## 東郷ふるさとおこし協議会



**所在地** : 福井市東郷二ヶ町6-13-1(東郷公民館内)

**連絡先** : 0776-41-0306

**ホームページ** : <http://e-tago.ddo.jp/>

**会長** : 後藤 裕幸

**設立時期** : 1991年3月

**活動内容** : 1990年度「福井市ふるさと創生事業」として、東郷地区では、ソフト、ハードの両面から取り組み、地区の活性化を継続して推進する団体組織として、1991年3月に「東郷ふるさとおこし協議会」が発足しました。住民アンケートやシンポジウムなどを経て、将来計画を1994年に報告書「偉大なるポケットゾーン東郷共和国」としてまとめました。その中から地区民総参加型の祭として「おつくね祭」が1995年から始まりました。企画運営すべて住民手作りによる祭りです。「おつくね」とはおにぎりのことです。小さい粒が集まっておにぎりになることを、「ひとり一人の人間が集まって、大きなおいしいすばらしいものができる。おつくねとは東郷住民のまちづくりのポリシー」と考えています。